

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
													成果	効率性	必要性	総合評価							
1	地域コミュニティの活性化支援体制の整備事業	区民の暮らしの基盤となる地域コミュニティの活性化を図るため	成果指標 (仮称)練馬区地域コミュニティ活性化プログラムをモデル地域で実施する	実績	実績	%	100.0	100.0	目標	目標	AB	A	非該当	A	A	A	A	・長期計画に基づき、練馬区地域コミュニティ活性化プログラムを策定し、モデル地域において試行を開始した。 ・モデル地域の取り組みを進めるに当たっては、既存の区立施設の有効活用、業務委託などにより、コストの抑制に努めつつ、プログラムのメニューの中から、地域の実情に即した支援を着実に進めた。	A	プログラムの全区的な展開に向け、モデル地域での取り組みの検証を行うとともに、プログラムの取り組みをより円滑に進めるため、庁内における後方支援体制の整備を進める。	A	地域振興課	
				達成率	達成率																		区民懇談会の提言
				経費	投入経費	千円	10,054	37,699	33,477														
				上記のうち人件費	千円	8,000	35,440	31,440															
2	地域振興一般事業(地域支援推進事務)	町会・自治会などの近隣団体との連絡調整、区と地域との橋渡しといった地域コミュニティ支援機能の充実を図るため	成果指標 地域情報掲示板とパンフレットスタンドの利用件数	実績	実績	%	3,051	3,834	4,000	目標	D	A	該当	A	A	A	A	地域支援推進員は、区と地域との調整役などを担い、地域での信頼関係も深く、その重要性は高い。	-	練馬区地域コミュニティ活性化プログラムでは、旧出張所管轄地域の17の各地域に、地域活動支援拠点を設置するとともに地域担当者として区職員を配置することとしているため、地域支援推進員の役割についても整理検討をおこなう。	B	地域振興課	
				達成率	達成率																		件
				経費	投入経費	千円	70,924	34,680	44,580														
				上記のうち人件費	千円	59,200	19,360	16,240															
3	町会・自治会支援事業	町会・自治会の活動を支援することにより、地域コミュニティの活性化を図るため	成果指標 町会・自治会への加入世帯数、14万台を目指す	実績	実績	%	139,795	139,887	140,000	目標	D	A	該当	B	A	A	A	個々の町会・自治会への支援をはじめ、区と町会・自治会の連絡調整を図る町会連合会への支援を行うことにより、区と地域の円滑な協調体制が構築されている。	-	今後も町会・自治会に対する支援を継続し、充実させるとともに、町会連合会の17地域の支部活動を円滑に進め、町会・自治会間の情報交換や地域課題解決のための仕組みを向上させる。また、地域コミュニティを活性化させるため、区民の地域活動への関心と参加意欲を高める取り組みを進める。	B	地域振興課	
				達成率	達成率																		世帯
				経費	投入経費	千円	37,391	35,922	37,726														
				上記のうち人件費	千円	10,400	10,480	10,480															

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
			成果	効率性									必要性	総合評価							
4	掲示板維持管理事業	区の公設掲示板および町会・自治会の協力掲示板を活用することにより、行政および地域活動の情報提供し、区民生活の向上に寄与するため	成果指標	新規に登録された協力掲示板の設置基数	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	B	A	A	B	町会・自治会が掲示板を通して行政情報を地域周辺へ伝達するという重要な役割を担っており、今後も協働を推進する観点から継続していく必要がある。	-	行政や地域の情報を区内に広く周知する目的から、今後も協力掲示板の数を増やしていく。行政情報等のポスターを各掲示板に均等に掲示できるよう、ポスターサイズの統一等の改善を行う。 区内に多数ある掲示板の板面修繕など維持管理を計画的に行っていく。また、修繕費の財源確保のため掲示板への広告掲載を増やしていく。	B	地域振興課	
					達成率	達成率															
			基	5	5	10															
			%	50.0	50.0																
経費	投入経費	千円	49,184	48,793	7,280																
		上記のうち人件費	千円	8,000	7,280	7,280															
5	NPO活動支援センター運営事業	NPOやボランティア団体に対する総合的な支援を行い、安定した地域活動を行う団体を育成するため	成果指標	相談件数	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	B	A	A	B	ここ数年の相談件数は、横ばいの状況にあるが、これまでの相談活動により蓄積された経験やノウハウを、各事業へ積極的に活用することで、一定の評価水準は確保されており、概ね良好に進んでいる。	-	各運営団体同士での事業協力や情報共有を充実させることで、さらなる事業展開を行う。 また、区民協働交流センターの開設を見据え、センターとの関係を整理し、支援事業の拡充に向けた検討をする。	B	地域振興課	
					達成率	達成率															
			件	475	447	500															
			%																		
経費	投入経費	千円	23,798	15,291	16,811																
		上記のうち人件費	千円	12,000	2,400	2,400															
6	町会自治会会館建設等助成事業	地域住民の相互交流および自主的活動の場を確保し、地域のコミュニティを活性化させることを目的とする。	成果指標	会館の修繕等の要望に応えられている状態	実績	実績	目標	目標	D	A	該当	A	A	A	A	町会・自治会の会館施設の重要な活動拠点であり、その建設や修繕等に対する支援の必要性が高い。毎年、町会連合会支部会等で繰り返し事業の周知を行い、町会・自治会から希望のあった案件については、迅速かつ適正に対応することができている。	-	引き続き、町会連合会支部会等を通じて、事業の周知に努め、事前相談体制を強化するとともに、町会・自治会施設の建設や修繕等を希望する場合には、希望する町会・自治会が複数の見積もりを取るよう指導し、より一層の効率性の向上に努める。	B	地域振興課	
					達成率	達成率															
			件	1	1	1	1														
			%	100.0	100.0																
経費	投入経費	千円	2,178	895	3,800																
		上記のうち人件費	千円	1,600	800	800															
7	地域情報コーナー運営事業	区民事務所や出張所などの施設内17か所にある地域情報コーナーにおいて、地域の方々に身近な情報を受発信する場を提供し、地域コミュニティを活性化させるため	成果指標	地域情報掲示板とパンフレットスタンドの利用件数	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	B	地域活動をされている方々に、地域情報受発信の場として利用され、その利用件数も増加している。 ただし、掲示板およびパンフレットスタンドは地域活動において積極的に利用され、その利用件数も増加している一方で、地域情報閲覧用パソコンの利用は低く、談話スペースの利用についても年々減少しており、地域情報コーナーのあり方については、見直しの必要がある。	-	地域にとって有益な情報を、多く早く提供できるよう、情報の収集に取り組む。また地域の方々へ地域情報コーナーの利用を周知していく。あわせて、練馬区地域コミュニティ活性化プログラムに基づき、場所や規模、運用方法などを見直し、内容の充実を検討する。	B	地域振興課	
					達成率	達成率															
			件	3,051	3,834	4,000															
			%		113.0																
経費	投入経費	千円	10,070	11,434	10,301																
		上記のうち人件費	千円	4,240	5,280	4,720															

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
8	地域活動参加支援事業	地域での活動を始めたい方々を対象とした講座の実施と、地域活動に参加するための機会を区民へ提供することにより、地域コミュニティを活性化させるため	成果指標	地域活動コーディネーター講座および地区区民館における地域活動参加支援事業の参加人数	人	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	該当	A	A	A	A	講座の修了後など、受講者同士が仲間づくりや今後の事業のアイデアを出し合うなど、地域のコミュニケーション作りに積極的に取り組む事例もあり、事業の成果が表れている。	-	各地域の実情に応じた講座や参加者にとっても有益な内容の講座を検討する。また、受講後に講座で得られた知識や技術を活用できる機会の提供などを検討する。	B	地域振興課
				2,589	2,775	3,000															
			経費	投入経費	千円	2,806	3,232	3,700													
			上記のうち人件費	千円	1,600	2,400	2,400														
9	区民協働推進事業	練馬区区民との協働指針に基づき、区民との協働を推進するために必要な環境を整備し、基本構想の区政経営の「区民と区との協働のまちづくり」を進めるため	成果指標	協働事業提案制度により提案され、選定した事業数（選定した事業の実施は翌年度）	事業	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	A	該当	A	AA	A	A	・協働事業提案制度で平成23年度に実施した事業について、事業の成果や進め方について評価を行い確認・改善を図ることができた。 ・また、平成23年度に実施した事業の取り組みを紹介したパンフレットを作成・配布するとともに、区ホームページで評価結果を公表するなど、協働の普及発に努めた。 ・平成23年実施事業の1つの事業が、この制度をきっかけとして区の直営事業となり、取り組みが進められている。 ・平成24年度に実施した6事業について、団体と区の事業関係課との良好な関係のもと事業が遂行された。 ・平成25年度に向けて、新たに5事業を選定するなど、良好に成果を上げている。	A	練馬区長期計画(平成22年度～平成26年度)では、協働事業提案制度を活用して、平成26年度までに25事業を実施することとしている。この3年間の取り組みを踏まえ、平成27年度以降の協働事業提案制度のあり方を検討する。	B	地域振興課
				7	5	5	5														
			経費	投入経費	千円	11,892	14,231	16,924													
			上記のうち人件費	千円	8,000	11,280	12,320														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:312 施策名:地域活動を支える情報・機会・場の提供を行う】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	地区区民館維持運営事業	地域住民の相互交流および自主的活動の場として、地域の特性を活かした施設運営を行うため	成果指標	団体利用者アンケートによる満足度の割合	%	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	A	A	A	24年度から全ての館が昼間委託実施館となった。これに伴い運営委員会との共催事業数が増えるなど区民との協働が一段と進んでいる。また、地域特性を活かした運営が行われ、幅広い年齢層の方々の交流や自主的活動が活性化している。	B	24年度から始めた委託内容と運営状況の検証の取り組みをさらに進める。検証結果からどのような研修や情報提供が必要か導き出し、新たなテーマとして研修を企画する。 また、インターネットと結びついた予約システムを開発し、より館利用の利便性を高める。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	1,157,880	1,067,590	1,014,318													
			上記のうち人件費	千円	576,800	562,160	529,200														
2	地域集会所維持運営事業	地域活動への参加のきっかけづくりや自主的活動の場を身近な場所で提供するため	成果指標	施設利用者の満足度(利用者アンケートより/「大変満足」と「やや満足」の計)	%	実績	実績	目標	目標	A	C	該当	A	A	A	A	地域住民からなる管理運営委員会に運営委託をし、利用者懇談会や利用者アンケートなどを通じて、利用者の意見等を運営に反映している。 また、地域住民による運営組織を持たない地域集会所(旧区民館)の地域委託化を進めるため、平成23年度から1か所、続いて平成24年度から1か所で管理運営委託を開始した。	B	南大泉地域集会所(平成23年度地域委託化)、土支田中央地域集会所(平成24年度地域委託化)の検証を行う。 ・経年劣化、老朽化による故障・破損等、危険回避のため、什器類の整備・更新を進める。 ・現行予約システムのリース期間満了に伴い、新システムの完成とスムーズな移行を目指す。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	216,577	215,749	215,969													
			上記のうち人件費	千円	35,200	34,560	39,760														
3	地域集会所施設の予約システムの検討	地域集会所施設の予約に関する手続きをわかりやすく、効率的に行うため。	成果指標	平成26年度新システム稼働 H24:機能の確定 H25:運用面の検討、規則等の整備、予算措置 H26:開発、契約、研修、運用開始	%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	AA	A	A	職員からなるプロジェクトチームにより、予定通り検討が進んでいる。	-	システムの見直しについて、施設運営を地域住民からなる運営委員会に委託している事情を十分考慮しつつ進めている。今後も運営委員会との情報共有を図りながら着実に進めていく。	B	地域振興課
						機能確定	機能確定														
			経費	投入経費	千円	0	800	800													
			上記のうち人件費	千円	0	800	800														
4	地域集会所整備の検討	地域住民の相互交流および自主的活動の場として、地域の特性を活かした施設運営を行うため	成果指標		%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	関係部署と連携をとり、良好に進んでいる。	A	引き続き、地域集会所整備について、周辺地域の施設整備計画等の動向を確認していく。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	0	80	80													
			上記のうち人件費	千円	0	80	80														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:312 施策名:地域活動を支える情報・機会・場の提供を行う】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
5	光が丘区民ホール運営事業	地域住民の文化・教養および相互交流の場を提供するため	成果指標	貸出施設利用者の満足度	%	実績	実績	目標	目標	A	D	非該当	A	A	A	A	指定管理者制度導入により、効率的な運営が図られている。指定管理者モニタリングチェックにおいても、全評価項目について、区が求める基準を満たしている。	B	利用者の満足度を高い水準で維持していく。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	7,656	7,318	7,256													
					上記のうち人件費	千円	3,200	2,000	2,800												
6	関区民ホール運営事業	地域住民の文化・教養および相互交流の場を提供するため	成果指標	貸出施設利用者の満足度	%	実績	実績	目標	目標	D	D	非該当	A	A	A	A	指定管理者制度導入により、効率的な運営が図られている。指定管理者モニタリングチェックにおいても、全評価項目について、区が求める基準を満たしている。	B	利用者の満足度を高い水準で維持していくとともに、事業内容、周知方法等について指定管理者と連携をとり、より効率的な運営を図る。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	15,153	14,599	15,365													
					上記のうち人件費	千円	2,400	2,000	2,800												
7	指定保養施設事業	旅館、ホテル等を区民保養施設として指定し、区民の利用に供することにより健康増進に資するため	成果指標	区民保養施設利用者の満足度	%	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	1泊あたりの補助金額を削減したが、利用者数に大きな変動はなく、全体としての補助金額を削減することができた。満足度も下がることがなく、本事業は良好に進んでいると言える。	A	引き続き、事業周知活動の改善に取り組むほか、冊子への広告掲載による歳入確保に取り組む。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	131,326	106,006	129,612													
					上記のうち人件費	千円	8,000	14,480	12,080												
8	指定葬儀場使用料負担軽減事業	区民の葬儀にかかる経済的負担の軽減を図るため	成果指標	練馬区内年間物故者数に対する助成件数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	B	A	A	B	葬儀にあたっては、一般的には多額の経費が必要となるため、助成金はその価値を認められるものとなっている。	-	現在は窓口での現金支給と郵送での振込支給との二方法での対応となっている。対応方法を見直し、より効率的な事務処理方法を検討する。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	50,011	49,648	47,558													
					上記のうち人件費	千円	4,800	4,800	4,000												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
												成果	効率性	必要性	総合評価					
1	中小企業振興事務(アニメ振興)	日本一の歴史と産業集積を持つ練馬区のアニメ産業を戦略的に強化・育成し、区全体の産業振興と区民の地域への誇りの醸成を図るため	成果指標 練馬アニメーション協議会の会員企業で前年度より景況が良くなったと感じる企業の割合が毎年3月に発表される日銀短観の数値を上回る	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	日本一の歴史と産業集積を持つ練馬区のアニメ産業を戦略的に強化・育成するため、アニメ関連企業の誘致を継続しており、また、練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」の活用により、アニメ産業が練馬区の大きな特色であるということは区民に広く認識されている。加えて、教育との連携事業を通して、区民の地域への誇りの醸成を進めている。	A	・練馬区地域共存型アニメ産業集積活性化計画も後期に入り、これまでの各計画事業をさらに推進していくとともに、次期長期計画の策定に向けて検討を進める。 ・「アニメのまち練馬区」を広くPRしていくため、西武池袋線大泉学園駅北口の再開発に伴い、アニメをテーマにしたモニュメントの設置に向け、関係機関との連携を強化していく。	B	商工観光課	
				達成率	達成率															
			投入経費	千円	111,332	82,607	89,111													
			上記のうち人件費	千円	32,000	29,760	29,760													
2	中小企業振興経費(伝統的産業・地場産業支援)	練馬区の地場産業である漬物産業と伝統工芸産業を広く紹介し、伝統産業の普及と振興を図るため	成果指標 伝統工芸展への来場者数	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	PRの拡充や工夫を凝らした企画・展示により、多くの方々が練馬の伝統工芸に触れたこと、また、漬物産展を区外で開催することにより、練馬の特徴的な産業である漬物を広く発信することができた。	A	伝統工芸展の新たな開催場所や工夫を凝らした開催方法を検討するとともに、さらにPRを拡充し、来場者数を増やすことにより、伝統工芸の普及と振興を図る。また、練馬漬物産展については、練馬の地場産業である漬物を効果的にPRできるよう、漬物産展の実施方法等について検討する。	B	経済課	
				達成率	達成率															
			投入経費	千円	10,465	9,503	10,278													
			上記のうち人件費	千円	4,800	3,840	4,560													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:322 施策名:中小企業の経営を支援する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
													成果	効率性	必要性	総合評価								
1	産業融資資金あっせん事務	事業資金の融資あっせんを金融機関に行うことにより、区内中小企業者の経営の安定と維持改善を図り、もって練馬区の産業の振興発展に寄与するため	成果指標	あっせん件数に対する融資実行率	%	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	成果指標は目標値に達しなかったが、効率的に事務を執行している。また、区内中小企業者の事業資金調達および経営安定化に直接的に寄与しており、産業融資あっせん事業は良好に進んでいる。	A	引続き、景気動向等の経済情勢の推移や区内中小企業者の経営に影響を与える社会問題等(震災等)を不断に注視し、必要に応じて産業融資資金あっせん制度を整備・拡充していく。	B	経済課			
						達成率	達成率																	
			経費	投入経費	千円	81	83	85	85													1,035,763	894,515	1,103,949
						上記のうち人件費	千円	24,000	25,680													24,960		
2	練馬産業振興センターの整備	産業振興の中核的な拠点として、産業経済活動の活性化に寄与し区内の事業者や産業経済団体を総合的に支援するため。	成果指標	(仮称)産業振興会館の整備の進捗状況	%	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	工事については、日立キャピタルグループとの定例会を通して進捗管理を行っており、スケジュール通り進捗している。また、施設管理・運営組織については、庁内外の検討会を通して、平成25年3月に「産業振興施策の新たな展開について」をまとめたことで一定の方向性を決定し、平成26年度の開設に向けて着実に準備を進めている。	A	平成26年度の施設開設に向けて、「産業振興施策の新たな展開について」に基づき、具体的に開設準備を進める。	F	経済課			
						事業計画に基づく整備(一部)	整備(一部)開設準備	整備開設準備	施設開設															
			経費	投入経費	千円	達成	達成															12,800	14,400	1,256,355
						上記のうち人件費	千円	12,800	14,400													19,760		
3	中小企業振興経費(活性化支援)	区内中小企業が営む環境に配慮した新規事業等の経費の一部助成や、販路拡大の機会を提供することで、区内事業所の経営基盤の強化を図る。	成果指標	見本市等出展による効果「受注、取引の契機、問合せの有無の確認」(補助金交付事業者へのアンケート調査より)	%	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	当補助制度の効果が高いことや、24年度の補助金交付件数が前年度より増えていることから、ニーズに合致した助成制度であると評価できる。また、ネットショップセミナーや受発注企業商談会の開催などにより、区内中小企業の販路開拓につながり、効果の高い事業である。	A	ISO認証取得支援事業補助金制度の要件等を見直すことなどにより、環境に配慮した経営を促進する。	B	経済課			
						達成率	達成率																	
			経費	投入経費	千円	89	100	80	80													7,546	11,453	6,794
						上記のうち人件費	千円	4,800	8,160													3,760		
4	中小企業振興経費(経営安定化支援)	区内中小企業の経営の改善を支援するため	成果指標	区内事業者数(22,000事業所)に対する商工相談等件数、マル経融資支援件数の合計の比率	%	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	A	A	A	利用件数も多く当該事業の必要性は高い。区内中小企業者の経営改善の有効な手段になっている。	A	26年度開設の練馬産業振興センターにおける相談業務の在り方について、相談者の利便性向上のためワンストップ相談ができる体制を検討する。	A	経済課			
						達成率	達成率																	
			経費	投入経費	千円	6.8	6.3	6.3	6.3													20,749	22,580	25,247
						上記のうち人件費	千円	5,600	6,000													5,840		

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:322 施策名:中小企業の経営を支援する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課				
												成果	効率性	必要性	総合評価									
5	中小企業振興経費(情報提供)	区内事業所等の情報発信の支援を通じて地域産業の振興を図るため	成果指標	「べがさす」のアンケート結果で情報が参考になったと回答された割合	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	A	A	A	A	「べがさす」の発行により、様々な側面から事業者向けの情報が提供され、区内全商店会のねりまっぷへの掲載によって区内外の事業者・商店会などの方々へ周知が図られており、区内商店会および事業者の活動に寄与している。	B	より効率的・効果的に区内事業者へ産業情報を提供するため、他の類似媒体等について各関係団体との調整を検討する。ねりま産業情報「べがさす」については、より事業者に役立つ魅力的な記事を提供するため、文字を大きくし、集客方法や区内産業の特徴的な部分をテーマにするなどアンケートの意見を反映する。	B	商工観光課				
					達成率	達成率															%	91.4	91.0	90
			経費	投入経費	千円	5,652	4,958	4,958																
				上記のうち人件費	千円	1,600	1,760	1,760																
6	中小企業振興経費(景況調査)	地域経済に関する情報を提供することにより地域の産業振興を図るため	成果指標	景況情報の提供	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	産業振興施策の基礎資料として、冊子を庁内や区内産業団体等に配布し、活用されている。	-	景況データの分析を通して、区内景況を的確に捉えるよう努める。また、一見して内容が判るような紙面を検討する。	B	経済課				
					達成率	達成率															件	実施	実施	実施
			経費	投入経費	千円	1,883	1,962	1,883																
				上記のうち人件費	千円	800	880	800																
7	中小企業振興経費(創業支援)	創業を促進することにより、区内産業の活性化を図るため	成果指標	起業家セミナー「創業！ねりま塾」のステップアップ講座受講者の開業率	実績	実績	目標	目標	AC	B	非該当	A	A	A	A	受講者アンケートでは各講座の受講生の約8割以上が満足していると回答し、成果指標の達成率も100%を超え、事業目的を効果的に達成している。また、コミュニティビジネス講座では、受講生15組が作成した事業プランを最終発表し、起業への支援として成果があった。	A	起業家セミナーおよびコミュニティビジネスの受講生が一人でも多く創業できるよう、講座の実施体制やカリキュラムをさらに工夫する。	B	経済課				
					達成率	達成率															%	39	29	25
			経費	投入経費	千円	3,943	5,706	5,227																
				上記のうち人件費	千円	2,400	3,440	2,880																
8	中小企業振興経費(経営者・後継者育成支援)	意欲のある次世代経営者を育成し、中小企業の振興を図るため	成果指標	セミナー受講者へのアンケートによる受講者の満足度	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	A	B1	A	B	コストは高くなっているが、当セミナーは経営者や後継者が経営課題解決のヒントを得る場であるとともに、様々な業種の経営者等の参加により事業者同士のネットワークづくりのための交流の場となり、販路拡大にもつながる効果的な事業である。	A	受講者アンケートの中で要望のあったITを活用した販路開拓など、区内中小企業のニーズに合致したテーマを選定し、より多くの経営者等が参加するセミナーとする。	B	経済課				
					達成率	達成率															%	88	82	80
			経費	投入経費	千円	3,976	3,422	2,498																
				上記のうち人件費	千円	2,400	2,560	1,680																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:323 施策名:中小企業の勤労者と就労を支援する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	ねりまファミリーバック事業	区内中小企業の勤労者・事業主および区民を対象に、福祉事業を総合的に展開し、区内中小企業の振興と区民福祉の向上を図り、地域社会の発展に寄与するため	成果指標	会員数		実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	ねりまファミリーバック事業運営上の大きな課題となる会員拡大について、昨年に比し約500名増という十分な成果を示しており、今後も区内中小企業勤労者への充実した福利厚生事業の展開が求められている。	A	さらなる改革を進めるべく、25年4月1日に練馬区産業振興公社へ法人改組し、引き続き勤労者福祉共済事業の充実を図るとともに、26年度に開設する「区民・産業プラザ」の施設管理受託等の準備を支援する。	A	経済課
					人	12,545	13,046	13,000	13,000												
			%	96.5	100.4																
			経費	投入経費	千円	101,601	99,178	109,217													
	上記のうち人件費	千円	400	400	400																
2	勤労者福祉事務	中小企業に勤務する勤労者を表彰することにより、勤労意欲の向上および雇用の定着を図るため	成果指標	被表彰事業所数		実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	B	A	A	A	低いコストで一定の成果が出ていることや、公平性の点からも区内で働く全従業員を対象とした事業であり、意欲の向上と雇用の定着につながっていることから良好に進んでいる評価した。また、内職の紹介事業については、区の一定の信頼性のもとに行うことにより、適切な運用ができています。	-	より多くの従業員を表彰するために、周知を徹底していく。	B	経済課
					企業	50	37	50	50												
			%	100.0	74.0																
			経費	投入経費	千円	2,398	2,324	3,173													
	上記のうち人件費	千円	1,360	1,440	2,080																
3	勤労者生活資金利子補給事務	利子を補給することにより区内在住中小企業勤労者の福祉向上と生活安定を図るため	成果指標	利子補助の実施		実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	B	C	C	C	東京都の生活資金融資の利用者が少ないことから、事業を継続しても実績の向上は望めない。	-	費用対効果の観点から、平成25年度をもって事業を終了する。ただし、平成25年度中に新規利用者があった場合は、経過措置として3年間制度を存続する。	D	経済課
					実施	実施	実施														
			達成	達成																	
			経費	投入経費	千円	410	406	478													
	上記のうち人件費	千円	400	400	400																
4	就業・雇用促進支援事務	区内雇用の安定と促進を図るため 区民の就労活動を支援するため	成果指標	社会保険労務士出張相談の件数		実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	雇用促進支援事業については、PRも浸透してきており、また利用者の満足度も高い。就労支援事務については、国や近隣区と連携することで、より効率的に事業を実施することができ、利用者の満足度も高い水準を保っている。	A	社会保険労務士出張相談事業については、練馬産業振興センターで行う相談業務のあり方について検討していく。 石神井公園区民交流センター内にあるワークサポートねりまとアクティブシニア支援室の一体化の検討や、ハローワークとの連携をより一層進めて、就労支援対策をより強化していく。	B	経済課
					件	173	226	150	180												
			%	192.2	188.3																
			経費	投入経費	千円	18,905	16,326	13,968													
	上記のうち人件費	千円	2,400	2,560	2,480																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:323 施策名:中小企業の勤労者と就労を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課			
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由		
5	勤労福祉会館維持運営事務	中小企業で働く勤労者の文化・教養および福祉の向上を図るため	成果指標	施設の稼働率(団体)		実績	実績	目標	目標	A	D	非該当	A	A	A	A	成果指標の達成率が高く、利用者アンケートの満足度も86%と高い数値である。	A	利用者の満足度を引き続き高い水準で維持していく。	B	経済課		
					達成率	達成率			%													71	72
			経費	投入経費	千円	54,952	60,629	47,859															
					上記のうち人件費	千円	1,600	1,680	1,680														
6	中高年勤労者福祉センター(サンライフ練馬)維持運営事務	中高年齢労働者の雇用の促進と福祉の向上を図るとともに、心身の健康保持および教養を高めるため	成果指標	施設の稼働率(団体)		実績	実績	目標	目標	D	D	非該当	A	A	A	A	予定どおり大規模改修工事が完了し、平成25年4月1日から館の運営を再開した。	-	利用者の満足度を向上させる。	B	経済課		
					達成率	達成率			%													66	
			経費	投入経費	千円	59,860	541,745	49,909															
					上記のうち人件費	千円	1,600	1,680	1,680														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
												成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	消費者育成啓発事務	広く区民に消費生活情報を提供するとともに、消費者意識の啓発および活動の促進を図るため	成果指標	消費者のための各種講座等の参加者アンケートで「参考になった」と回答した受講者の割合(受講内容満足度)	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	該当	A	A	A	A	新たな商品・サービスの登場により、これまでにない消費者トラブルが生じ、区からの情報発信が重要性を増す中で、成果指標は目標を達成した。高齢者向けのスマートフォン講座や食をテーマとした講座など、時流を捉えた賢い消費者となってもらうため幅広い情報を発信した。	A	B	経済課
					%	93	94	90												
			経費	投入経費	千円	22,732	24,669	22,829												
				上記のうち人件費	千円	17,600	20,080	19,120												
2	消費者支援事務	契約上の紛争や商品の欠陥による被害等から消費者を救済、保護するため	成果指標	解決率(解決した件数(情報提供含む)/相談総件数(継続案件を除く))	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	消費者トラブルが複雑化、多様化し、消費生活相談が担う役割が重要性を増す中、相談員のスキルアップ(専門研修への参加など)を図り、消費者庁、国民生活センター、都との連携のほか、弁護士会や簡易裁判所、警察、福祉関係部署などとの連携を深めながら、消費者トラブルの解決に向けた取組を良好に実施している。	A	B	経済課
					%	97	97	96												
			経費	投入経費	千円	46,453	45,611	45,919												
				上記のうち人件費	千円	8,800	10,240	10,400												
3	石神井公園区民交流センター維持運営事務	区民の自主的文化活動と相互交流を促進し、区民の消費生活の安定と充実を図り、併せて区内産業の振興に寄与することにより、区民生活の向上を図るため	成果指標	施設の稼働率	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	D	非該当	A	A	A	A	成果指標の達成率が高く、利用者アンケートの満足度も82%と高い数値である。	A	B	経済課
						%	71	73	70											
			経費	投入経費	千円	59,940	59,696	57,439												
				上記のうち人件費	千円	1,600	1,680	1,680												

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:325 施策名:都市農地を保全し都市農業を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	農業委員会一般事務	農地法等に基づく調査、確認を適切に行うことにより、区内の生産緑地の管理を適切に図るため	成果指標	農地パトロールの実施により、肥培管理状況が適切と判断された生産緑地の比率	%	実績	実績	目標	目標	D	A	該当	B	A	A	A	23区の農地の約40%を保有している区の行政委員会として、その農地が適切に管理されるよう、諸法令に基づき、状況を把握し適切な事務執行がなされている。さらに、農地パトロールを実施することにより、農地の適正な管理に取り組んでいる。	-	平成24年度に作成した練馬区農業委員会のホームページについて、閲覧者の観点からさらなる充実を目指すとともに、農地の保全に資するよう新たなコンテンツの追加を検討する。	B	都市農業課
						達成率	達成率														
						99.3	99.2	100	100												
						100.3	99.7														
			経費	投入経費	千円	33,015	44,830	36,692													
上記のうち人件費	千円	27,200			42,720	34,560															
2	農業振興事務(農地の保全)	国へ農地関係制度の見直しを要望すること、および都市農地保全自治体フォーラムの開催により都市農地の持つ多面的な機能について発信することで、都市農地の保全につながる取組を推進するため。	成果指標	都市農地保全を推進するための要望活動	回	実績	実績	目標	目標	AB	A	該当	A	AA	A	A	国への要望活動により、国において都市農地の役割が一定の評価をされたほか、都市農地保全自治体フォーラムの開催により、住民に対し都市農地の重要性について発信することができたため、極めて良好に進んでいる。	A	都市農地保全自治体フォーラムにおいて、24年度新たに都内産農産物の販売を開始したところだが、販売場所や開催する曜日の見直しにより、更なる集客向上が見込めることから、25年度の実施にあたってはこれらについて検討する。	B	都市農業課
						達成率	達成率														
						1	2	1	1												
						100.0	200.0														
			経費	投入経費	千円	8,081	7,140	7,220													
上記のうち人件費	千円	8,000			7,120	7,200															
3	農業振興事務(支援事業)	区内農業者の経営の合理化や農業収入の向上および支え手の育成を図り、もって効率的かつ安定的な農業経営を実現するため。	成果指標	区が認定農業者として認定した延べ認定者数	人	実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	AA	A	A	A	区内農業者の多様な取組を、ソフト・ハード両方の支援事業により総合的な支援を実施することができているほか、認定農業者等に対しては、農業者ごとに必要な支援を行うことで、区内農業者の効率的かつ安定的な農業経営の実現を図り、もって都市農業・農地の魅力を活かした農業経営が推進されている。	A	認定農業者が経営改善のために取り組む内容は多岐にわたることから、計画内容の確認や意見等を聞くことで、必要性の高い支援を行っていく。	A	都市農業課
						達成率	達成率														
						19	48	45	55												
						95.0	137.1														
			経費	投入経費	千円	41,833	63,280	65,858													
上記のうち人件費	千円	13,600			17,520	17,200															
4	農園事務	区が農地を活用し、区民に余暇活動を行う場を提供することで、健康的でゆとりのある生活に資するとともに農業に対する区民の理解を深め、もって都市農地の保全および都市農業の振興を図るため	成果指標	総区画数に対する利用区画数の割合	%	実績	実績	目標	目標	AB	B	該当	B	A	A	A	農とのふれあいの場を提供し、区民の農に対する理解を深めることができているほか、良好な都市環境の形成と農地の保全にもつながっており、事業は良好に進んでいる。	A	農地保全を図るための、農園用地の取得および整備に係る財源確保について検討する。	B	都市農業課
						達成率	達成率														
						100.0	99.4	100	100												
						100.0	99.4														
			経費	投入経費	千円	89,730	57,725	75,626													
上記のうち人件費	千円	20,000			11,040	26,480															

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
5	農業振興事務 (ふれあい農業推進)	各種事業の実施により農業体験や農家との交流を推進するとともに、農に関する情報発信により、区民の都市農業・農地への理解を深めるため	成果指標	野菜ウォークラリー・酪農体験の参加者アンケートによる満足度	%	実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	AB	B	該当	A	A	A	A	-	農業者との協働により実施する事業について、より効果的な事業運営を行うため、協定等の締結による役割分担の明確化等の手法について協議、検討する。 また、参加者アンケートについて、より広範での実施について検討する。	B	都市農業課	
				%		97.3	98.3	95	95												
			経費	投入経費	千円	21,951	60,671	29,798													
				上記のうち人件費	千円	14,400	26,000	16,320													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:326 施策名:魅力的な商店街づくりを進める]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価						
1	商店街振興事業(活性化支援)	商店会等が実施するイベント事業を区が支援することにより、活気ある魅力的な商店街づくりを促進するため	成果指標	にぎわい商店街支援事業来街者数	人	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	B	各商店会がそれぞれのイベントに本補助事業を活用することで商店街を活性化し、にぎわいづくりに寄与している。しかし一方で、補助申請のあり方や執行のあり方に問題が生じているケースが出てきており、今後も補助金の趣旨を踏まえ、より有益に活用されるよう、補助手続きの方法や調査方法の整理を行う必要がある。	A	平成24年度は一部商店会で補助申請等について問題が生じたことから、より適正な補助金執行を行うため、補助基準の見直しや商店会からの提出書類の厳格化、商店会イベントの抜き打ち調査などを検討する。	B	商工観光課	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円	104,809	109,819	120,299														
			上記のうち人件費	千円	16,000	17,520	21,840															
2	商店街振興事業(買い物支援等事業推進事業)	商店街等が、高齢化や商店街店舗数の減少により買い物に困難になっている高齢者や子育て世帯など、買い物弱者等の支援を通して、区内商店街の魅力を増やし活性化を図るための手法を検討するため。	成果指標	買い物支援等事業の実施	件数	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	A	B1	A	B	初年度ということもあり、モデル事業の運営状況が計画通りにはいっていないものの、モデル事業の実施状況・サービスに関する住民アンケート・代表者会および検討会議での検証等を行い、良好に進めることができた。25年度は、この検証結果に基づいたサービスの改善策等を実施し、更なる検証を行う。	A	これまでの商店街・運営団体・区の連携を継続しつつ、将来にわたって安定した事業運営を行うために24年度までの結果を整理し、各サービスが自立できる事業のあり方および方向性を検討する。	B	商工観光課	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円	14,470	39,169	13,056														
			上記のうち人件費	千円	7,200	14,000	9,600															
3	商店街振興事業(環境整備支援)	快適な商店街の環境づくりに寄与するため	成果指標	商店街活性化事業への助成における過去5年間の平均実施事業数	事業	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	本事業は各商店会が定期的に行う性質のものではなく、年度によって実施件数にばらつきがあるものの、街路灯LED化や商店街案内板などの整備が着実に進んでおり、区内商店会の買い物環境が向上している。こういった環境整備によって商店街の魅力が高まり、来街者の増加など活性化に役立っている。また、商店街が行うこうした公共性の高い活動を区が支援することには大きな意義がある。	A	各商店会へ最近の環境整備実績などを示して区内商店会の状況を把握してもらい、これを踏まえて各商店会の環境整備意識の醸成を図る。	B	商工観光課	
						達成率	達成率	16	17													18
			経費	投入経費	千円	47,484	40,462	39,216														
			上記のうち人件費	千円	4,800	3,520	2,640															
4	商工生活経済一般事務	大・中規模小売店舗の立地において適正な配慮をすることにより、周辺地域の生活環境を良好に保持することおよび、まちづくりにおける開発事業の基準等を定めることにより区民福祉の向上と良好なまちづくりの実現に寄与するため	成果指標	大規模小売店舗等の新規出店後の近隣住民からの苦情等の未発生割合	%	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	景気回復にともない、大・中規模小売店舗の新規出店が伸びている。設置者と近隣住民との調整を積極的にを行い、周辺環境への悪影響を未然に防止できている。	-	都への意見書や条例に基づく区の協議事項の有無について、小売店舗検討委員会を必要に応じ開催し、設置者と近隣住民との調整を積極的に行い、周辺環境への悪影響を未然に防止する。	B	経済課	
						達成率	達成率	100	100													100
			経費	投入経費	千円	2,106	800	800														
			上記のうち人件費	千円	800	800	800															

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
5	商店街振興事業(組織力強化支援)	商店会の組織を強化し、商業基盤を充実させるため	成果指標	会員数が増加した商店会の割合		実績	実績	目標	目標	A	B	該当	A	A	A	A	組織力強化に資する事業を支援することで、商店街運営の維持だけでなく商店街の魅力が引き出され、新たなイベント等のアイデアにつながっている。このような成果を生み出す事業を効率的に実施できており、良好に進んでいるといえる。	A	B	商工観光課
					達成率	達成率														
			%	25.7	21.1	20	20													
			%	128.4	105.5															
経費	投入経費	千円	34,172	31,566	43,377															
		上記のうち人件費	千円	4,000	3,520	3,520														
6	商店街振興事業(生鮮食料品共同販売支援)	区民により良い生鮮食料品を提供するため、各小売店商業団体の組織化および協業化を促進し、小売店の経営の発展と活性化を図る	成果指標	生鮮食料品共同販売の実施回数		実績	実績	目標	目標	D	A	該当	A	A	A	A	低いコストで良質な生鮮食料品を多くの区民が購入することができ、共同販売事業の参加店の経営の安定化とともに、商店街の核となる生鮮三品の共同販売事業であることから、商店街活性化につながっている。	-	B	経済課
					達成率	達成率														
			回	13	14	15	15													
			%	86.7	93.3															
経費	投入経費	千円	25,357	26,341	25,280															
		上記のうち人件費	千円	1,600	2,960	1,280														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:327 施策名:まち歩き観光を推進する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	観光振興事業	練馬区観光協会を支援し、アニメや農を活用したまち歩き観光を推進するため。	成果指標	練馬区観光案内所の利用者数	人	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	B1	A	B	練馬区観光協会では、区の観光振興の中心となる「まち歩き観光事業」として、(株)西武鉄道との共催によるまち歩きイベントの実施や、まち歩き観光ガイド育成、新たな観光コースの作成などの取組みが着実に進行しているほか、制作したねり丸グッズの販売も好調で、協会の独自収入の柱の一つとなっている。 また、平成26年度に練馬駅北口(仮)区民・産業プラザへの移行、平成28年度に石神井公園駅高架下観光案内所の開設が予定されており、新たな観光情報発信拠点として整備を進めている。	B	練馬駅北口の区民・産業プラザ内に移行が予定されている観光情報コーナーの機能検討をしていく。 また、前年度に引き続き練馬区観光協会の事務局機能の拡充にむけて、検討をする。	B	商工観光課
						達成率	達成率														
						64,556	63,654	79,000	79,000												
						%	81.7	80.6													
						経費	投入経費	千円	69,983												
	上記のうち人件費	千円	24,000	23,600	23,600																
2	練馬まつり・照姫まつり等事務	地域のにぎわいづくりと地域経済の活性化を図るため	成果指標	練馬まつり・照姫まつり・地区祭の来場者数の過去10か年の平均値に対する今年度の来場者数	人	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	A	A	A	A	成果指標、コスト指標の状況に加え、まちの賑わいの創出に寄与している点から良好に進んでいる。	A	各まつり推進協議会の構成団体である区と実行委員会の役割分担について見直しを行い、今年度のまつり開催の体制について整理する。 また、翌年度以降のまつりの内容・開催場所について、関係団体との調整を行い、検討を進めていく。	A	商工観光課
						達成率	達成率														
						348,970	371,585	330,000	330,000												
						%	106.4	112.7													
						経費	投入経費	千円	75,673												
	上記のうち人件費	千円	8,000	7,840	7,840																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:331 施策名:区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	文化芸術振興の推進体制の整備	文化芸術振興の積極的な展開を図るため	成果指標	文化芸術振興・多文化共生支援施設の整備		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	ABC	A	該当	A	A	A	A	平成23年3月に練馬区文化芸術振興計画を策定し、文化振興協会や区内の三大学、文化芸術団体と連携・協働を図りながら、一体的な取組を進めている。また、青少年をはじめとする区民の文化芸術活動の支援の場として、文化交流ひろばを開設し、事業は良好に進んでいる。	B	引き続き、文化芸術情報システムについて調査、検討を進める。 文化芸術施設への指定管理者制度導入を推進する。	B	文化・生涯学習課
				改修設計	改修工事	開設															
			経費	投入経費	千円	6,538	234,052	2,684													
				上記のうち人件費	千円	6,400	10,720	2,480													
2	文化芸術振興事務(各種事業)	区民が気軽に文化芸術に親しみ、心豊かな生活を送ることができるようにするため	成果指標	ゆめりあワンコイン・コンサートの入場者数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	B	該当	A	A	B1	A	平成23年3月に策定した練馬区文化芸術振興計画に基づき、区民の文化芸術活動を活性化する観点から、(公財)文化振興協会や区内の3大学、文化芸術団体と連携・協働しながら、身近で、かつ様々な文化芸術の環境機会を提供している。	-	引き続き練馬区美術家協会と連携・協働して、より良い形での絵画作品等の展示を区立施設で実施する。 区内3大学や文化振興協会と共同で企画を検討し、さまざまな事業を実施して区民へ参加・鑑賞の機会を提供する。	B	文化・生涯学習課
				人	905	903	820	820													
			%	110.4	110.1																
			経費	投入経費	千円	9,116	18,591	14,621													
上記のうち人件費	千円	3,200		12,400	8,240																
3	文化振興協会事務	区民文化の向上ならびに振興および区民の自主的な文化活動の促進を図るため	成果指標	事業の入場・参加率(入場者・参加者数/入場可能人数・参加定員)		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	D	A	該当	A	A	A	A	多様な手法で良質な文化芸術を区民に提供する事業を展開し、区と連携した組織運営を図っており、良好に進んでいる。	-	文化振興協会との連携を深めるとともに、区と文化振興協会が担う役割を明確化していく。	A	文化・生涯学習課
				%	77.4	82.6	75	75													
			%	103.2	110.1																
			経費	投入経費	千円	116,296	120,741	143,363													
上記のうち人件費	千円	800		4,960	10,720																
4	美術館展示事業	主に日本の近・現代美術をテーマとした展覧会および作品収集を行い、区民等へ、優れた美術作品を気軽に鑑賞する機会を提供するため	成果指標	企画展(有料)観覧者数		実績 達成率	実績 達成率	目標	目標	A	A	非該当	A	A	A	A	質の高い展覧会を企画・開催し、同時にテレビ、ラジオ、新聞、ウェブへの周知を積極的に図ったことから、この3年間で入館者数が20,000人程度増加している。	B	練馬の文化芸術向上のために、強力な牽引車としての役割を果たしていく。 企画展覧会等の質的向上を図り、さらに来館者を増やしていく。	B	文化・生涯学習課
				人	46,671	33,988	33,000	34,000													
			%	166.7	106.2																
			経費	投入経費	千円	74,544	71,227	65,139													
上記のうち人件費	千円	24,000		19,840	14,080																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:331 施策名:区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価							
5	美術の森緑地の整備	美術館入口に隣接する美術の森緑地を、美術館の前庭と位置付け、野外展示の場、美術館へいざなう場として一体的に活用する。美術館と美術の森緑地を、練馬区の観光スポットとして、利用者の拡大を目指すとともに、地域のまちづくりにも貢献する。	成果指標	美術の森緑地の整備	件数	実績	実績	目標	目標	ABC	B	該当	A	A	A	A	平成24年度に基本構想を策定し、平成25年度に基本・実施設計を予定しており、順調に進んでいる。	-	平成26年度中に整備工事を完成にむけて、平成25年度に基本・実施設計、平成26年度に整備工事と開設を行う。	B	文化・生涯学習課	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円		5,584	15,093														
					上記のうち人件費	千円	0	3,200	7,520													
6	美術館一般事務(美術館運営協議会事務)	美術に関する専門的かつ幅広い意見を美術館運営に反映させ、練馬区立美術館の運営方針および事業計画を適正に行うため	成果指標	運営協議会の開催回数	数	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	委員構成は、学識経験者、区議会議員、公募区民、美術団体関係者、学校教育関係者からなる19名である。これらの方々の様々な経験と知識と地域性等から、貴重なご意見をいただきながら美術館運営をすることにより、質の高い、かつ知られざる作家等を次々と紹介していく練馬区立美術館の運営についての力強いサポートとなっている。	A	多くの区民から親しまれる美術館にすべく、美術館運営協議会と協力して推進していく。	B	文化・生涯学習課	
						達成率	達成率	2	2													2
			経費	投入経費	千円	33,891	36,211	31,173														
					上記のうち人件費	千円	20,000	22,320	19,040													
7	美術館維持管理事務	区民の自主的な創作活動および創作発表の機会を充実するため 芸術鑑賞に適した雰囲気や美術作品の資料等保管に支障のない環境を保つとともに、利用者が安全に安心して利用できる施設を維持するため	成果指標	貸出施設稼働率	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	B	A	B1	A	約83%の利用率であり、区民等の美術の創作・発表の場として定着していることから、事業は良好に進んでいる。	B	施設の老朽化に対応して、計画的な改修に取り組む。	B	文化・生涯学習課	
						達成率	達成率	85.8	83.0													85
			経費	投入経費	千円	89,467	68,408	65,523														
					上記のうち人件費	千円	4,000	4,160	4,160													
8	美術館教育普及事業	美術作品の鑑賞にとどまらず、制作体験や講演会等を通して、区民が多様な美術状況の理解を深めるため	成果指標	各事業・講座の参加率	%	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	B	A	A	A	区民の方の美術への知識や教養の向上を目指して事業を実施している。その結果、参加率が高く、参加者も増え、良好な事業展開ができている。	A	区内美術大学との連携事業を充実させていく。	B	文化・生涯学習課	
						達成率	達成率	94.9	86.0													88
			経費	投入経費	千円	9,340	4,335	4,119														
					上記のうち人件費	千円	8,000	2,480	2,480													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
			成果指標	経費									成果	効率性	必要性	総合評価					
9	文化センター維持管理事務	区民文化の活動・発表の場、発信拠点として活用するため	成果指標	施設の利用率(利用件数/利用可能件数)	%	実績	実績	目標	目標	A	D	非該当	B	A	A	B	平成20年度に公募による指定管理者制度を導入して以降、効率性の高い運営を行っており、区内における文化発信の中心施設として必要性も高い。そのため、さらに利用しやすい施設運営を図る。	A	モニタリングを活用し、利用者の意見・要望からよりよい施設管理・運営につなげていく。適正に維持管理していくための修繕計画等を検討していく。	B	文化・生涯学習課
						達成率	達成率														
			69.3	72.0	73	73															
			94.9	98.6																	
経費	投入経費	千円	141,961	156,829	137,217																
		上記のうち人件費	千円	0	9,840	9,600															
10	大泉学園ホール維持管理事務	区民文化の活動・発表の場、発信拠点として活用するため	成果指標	施設の利用率(利用件数/利用可能件数)	%	実績	実績	目標	目標	D	D	非該当	B	A	A	B	平成20年度に公募による指定管理者制度を導入して以降、効率性の高い運営を行っており、区内における文化発信の中心施設として必要性も高い。そのため、さらに利用しやすい施設運営を図る。	-	モニタリングを活用し、利用者の意見・要望からよりよい施設管理・運営につなげていく。建物管理組合が行う大規模改修計画に対応していく。	B	文化・生涯学習課
						達成率	達成率														
			77.5	80.2	82	82															
			94.5	97.8																	
経費	投入経費	千円	328,209	339,973	342,891																
		上記のうち人件費	千円	0	4,160	4,160															
11	向山庭園維持運営事業	文化芸術活動の支援と機会を提供するため。	成果指標	(改築前)施設整備の進捗状況(再開後)施設利用者の満足度	%	実績	実績	目標	目標	AB	B	非該当	A	A	A	A	東日本大震災の影響で改築スケジュールの1年間延長があったが、耐震改修・ユニバーサルデザイン・練馬区公共施設予約システムの導入など、時代に即した、区民のニーズに応えた施設として、平成25年4月に再開した。	A	区HP、指定管理者HPを整備し、庭園再開や練馬区公共施設予約システムの導入などの区民への周知することで利用率の向上を図る。 ・利用者アンケートの実施による区民ニーズの把握と運営への反映を図る。 ・利用者の要望に沿った四季折々の事業を展開する。	B	地域振興課
						達成率	達成率														
			0	100	70																
			0	100																	
経費	投入経費	千円	2,553	388,381	22,866																
		上記のうち人件費	千円	1,600	21,120	5,600															
12	文化芸術資産の活用	区民の生活にゆとりと潤いをもたらすとともに区の文化力を広く内外に発信することにより、区の文化的イメージの向上を図るため	成果指標	文化芸術資産の活用拠点の整備	%	実績	実績	目標	目標	ABC	A	該当	A	A	A	A	区と練馬区文化振興協会が連携しながら、区の所有する文化芸術資産を活用した事業を幅広く実施した。また、文化芸術資産活用拠点の整備として、練馬区立石神井松の風文化公園(旧日本銀行石神井運動場)に設置する展示室等における事業展開、運営方針、展示の基本方針等を定め、事業は良好に進んでいる。	A	文化芸術資産活用拠点として、練馬区立石神井松の風文化公園(旧日本銀行石神井運動場)に設置する展示室等について、展示物等の制作、管理運営方法の決定等、開設に向けた準備を進める。	A	文化・生涯学習課
						達成率	達成率														
			100.0	100.0																	
			実施設計	事業方針策定	整備・工事	開設															
経費	投入経費	千円	9,802	14,706	72,991																
		上記のうち人件費	千円	3,200	640	15,920															

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由	
																						実績
13	子ども家庭教育推進事業	家庭と地域の教育力向上を図ることにより、子供の社会性や人間性を育むため	成果指標	各事業・講座の参加率	%	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	A	A	A	A	1 区民と行政との協働による事業として、区内全域において身近な場所で500を超える講座を開設し、各事業・講座の参加率は目標を達成している。 2 1講座あたりのコストは低く、前述のように成果が上がっており、効率性は高い。 3 教育基本法により、地方自治体は家庭教育支援について必要な施策を講ずるよう努めなければならない、社会教育法においても教育委員会の事務として規定されており、必要性は高い。 4 ねりま遊遊スクール等の青少年に対する社会教育は、教育基本法および社会教育法により、地方公共団体によって奨励されなければならないと規定されており、必要性は高い。	A	教育課題となっているテーマ(いじめ、有害情報など)に関する委託講座の充実を図る。	B	青少年課	
						達成率	達成率															82.4
			経費	投入経費	千円	23,207	20,766	21,428														
					上記のうち人件費	千円	16,000	14,480	13,920													
14	わかものスタート支援事業	青少年が学ぶことや、働くことの意義を学習するための機会の提供や、社会参加への意欲を養うため	成果指標	各事業・講座の参加率	%	実績	実績	目標	目標	D	C	非該当	B	A	A	A	ハローワークや都、他区との情報交換が活発になってきており、紹介し合える状況になってきている。	B	「ねりま若者サポートステーション」の開設により、事業の一体化を図っていく。	B	青少年課	
						達成率	達成率															35
			経費	投入経費	千円	5,647	5,760	5,798														
					上記のうち人件費	千円	800	800	800													
15	生涯学習推進事業	区が実施する様々な分野の多様な学習・文化情報を収集し、年間計画・学習機会等の情報を提供するなどにより、区民の生涯学習活動を支援するため	成果指標	生涯学習団体(スポーツ関係団体を除く)の届出数	団体	実績	実績	目標	目標	A	A	該当	B	A	A	A	・成果指標は、目標を下回ったものの団体数は増加した。 ・コストを下げながらも、事業の実績は昨年同様の実績を維持しており、効率性は高い。 ・団体の中には、学んだ成果を活かすための団体も届出制度により支援しており、生涯学習活動や地域活動の活性化に寄与している。	A	閲覧に供している生涯学習団体届出一覧の掲載内容を見直し、情報量を増やすことにより各団体の会員数の増加の一助とする。 武蔵大学特別聴講生については、過去に受講したことがないことを応募の条件としているが、再受講等応募要件について、検討する。	B	文化・生涯学習課	
						達成率	達成率															544
			経費	投入経費	千円	54,454	32,932	24,734														
					上記のうち人件費	千円	52,000	31,440	23,120													
16	少年自然の家維持運営事務	恵まれた自然環境の中での集団宿泊生活を通じ、少年たちの創意と活力あふれる人間形成を図るとともに、区民の健全な余暇活動に役立てるため	成果指標	【部屋の稼働率】	%	実績	実績	目標	目標	D	CD	非該当	B	A	A	A	成果目標には達していないが、稼働率の増加を達成している。また、指定管理者制度の導入で、施設運営の効率化を図るとともに、区立小・中学校の移動教室等の実施においては、民間施設では対応が難しい個別のアレルギー対応および随行等のサポートも引き受けている。さらに、民間施設を利用した場合と比較して、少ない負担での利用が可能で、安全・安心の移動教室等の実施に大きく寄与している。	-	施設の修繕等を引き続き計画的に行い、安全で衛生的な宿舍を維持できるように努める。 一般利用者の増加を図るとともに、小・中学校が移動教室等の校外学習事業で少年自然の家を安全・快適に利用できるように、サービスの維持・向上に努める。	B	教育総務課	
						達成率	達成率															46.7
			経費	投入経費	千円	763,586	770,145	753,225														
					上記のうち人件費	千円	32,000	36,880	36,320													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:331 施策名:区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
25	生涯学習センター維持管理事務	施設を良好な状態に保ち、多くの区民に学習文化活動の場の提供するため	成果指標	施設貸出利用者数	人	実績 220,926	実績 208,341	目標 220,000	目標 220,000	D	B	非該当	B	A	A	B	大規模改修の計画が未定の現在、劣化解消等のための補修工事費が毎年度かかってくるが、利用団体も増え、貸出利用も多いことから、当施設は安全に利用できる程度の状態が維持されている。	B	引き続き、小まめな施設点検で小さな破損に対して速やかな対応を心がけるとともに、可能なかぎり環境に配慮した、利用者の安全確保・利便性向上に繋がるような施設の改善を図っていく。	B	文化・生涯学習課
					%	100.4	94.7														
			経費	投入経費	千円	101,038	99,750	91,366													
				上記のうち人件費	千円	13,600	16,640	18,240													
26	(仮称)ねりま区民大学整備事務	区民の主体的な生涯学習活動を支援し、地域活動を担う人材を育成するとともに、地域活動や社会貢献などの人材活用の仕組みづくりを構築するため	成果指標	施設整備の進捗状況		実績 あり方懇談会設置・あり方の提言	実績 庁内検討会議の開催	目標 基本計画の策定	目標 開校	AB	A	非該当	A	A	A	A	平成24年度は、庁内検討会議において基本計画の策定に向けて検討を進め、開設に向けて順調に進んでいる。	A	引き続き、基本計画策定に向けた検討を進め、25年度中に策定する。	B	文化・生涯学習課
					%	100.0	100.0														
			経費	投入経費	千円	6,190	6,160	6,000													
				上記のうち人件費	千円	5,600	6,160	6,000													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:332 施策名:読書活動を支援する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	図書館資料受取窓口の整備事務	図書館以外に図書館資料の受取窓口を設置・拡大し、利便性を向上させ、利用機会の拡大を図るため。	成果指標	受取窓口開設数	実績	実績	目標	目標	AB	A	非該当	A	A	A	A	3か所目の(仮称)石神井公園駅受取窓口は、平成25年度、整備工事を行う。 4か所目の大泉学園駅再開発ビル内受取窓口の整備に向けた検討が進んでいる。	B	・石神井公園駅付近高架下については、平成26年度の開設に向けた準備作業を進める。また、大泉学園駅北口地区に設置する受取窓口については、再開発ビル開設準備と合わせて、設備・運営方法等の検討を進める。 ・5か所目となる受取窓口の設置場所について引き続き検討する。	B	光が丘図書館	
					達成率	達成率															
			施設	2	2	2	3														
			%	100.0	100.0																
経費	投入経費	千円	11,792	7,360	23,887																
		上記のうち人件費	千円	8,000	7,360	7,360															
2	図書館維持運営事務(指定管理委託事務)	指定管理者制度の導入により、区民の多様な図書館ニーズに対して迅速・的確、かつ効率的に対応するため。	成果指標	指定管理者導入施設数	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	近隣施設と連携しながら地域に根ざした事業を展開しており、地域の情報拠点として事業展開を活発に行っているなど、図書館運営は良好に進んでいる。	-	モニタリングを通して情報共有しながら、地域に根ざした事業展開を図っていく。また、指定管理者館で得られた成果を活用し、区立図書館全体の図書館サービスの向上を図る。	B	光が丘図書館	
					達成率	達成率															
			施設	1	4	6	7														
			%	100.0	100.0																
経費	投入経費	千円	137,221	494,700	740,447																
		上記のうち人件費	千円	12,000	27,360	43,360															
3	図書館維持運営事務(窓口等業務委託事務)	区民の多様な図書館ニーズに対して迅速・的確、かつ効率的に対応するため。	成果指標	窓口等業務委託施設数(図書館+図書館資料受取窓口)	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	窓口等業務委託による図書館運営は、有効である。 窓口等業務委託による運営、指定管理者制度による運営について、各館の特性、状況に合わせ、適宜選択し、図書館運営を行っていく必要がある。	-	利用者の視点に立ちながら適正なサービスが提供されているか、モニタリングを通して確認し、実際の業務に反映させる。モニタリングの方法については、受託者への適切な管理監督を継続的に実施するために、今後も検討していく。	B	光が丘図書館	
					達成率	達成率															
			施設	13	10	8	8														
			%	100.0	100.0																
経費	投入経費	千円	647,275	490,300	427,267																
		上記のうち人件費	千円	8,000	24,000	21,200															
4	図書館専門員事務	図書館専門員の専門職としての能力を活用し、図書館事業の運営を効率的かつ円滑に進めるため。	成果指標	-	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	A	A	A	A	図書館運営において図書館専門員の活用は重要であり、今後も図書館運営全体の方向性を踏まえつつ活用を図っていく。	-	図書館運営全体の方向性を踏まえ、図書館専門員の活用方法について検討する。	B	光が丘図書館	
					達成率	達成率															
			-	-	-	-	-														
			-	-	-	-	-														
経費	投入経費	千円	174,663	178,285	181,670																
		上記のうち人件費	千円	4,800	1,920	1,920															

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:332 施策名:読書活動を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価						
5	図書館維持運営事務(図書館システム維持運営事務)	図書館資料データを一元管理し、各種の図書館サービスを迅速かつ円滑に利用者へ提供するため	成果指標	総予約件数に占めるインターネット予約件数の割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	B1	A	B	新システムの機能について一部意見が寄せられており、改修が必要な部分があるが、システム更新自体は順調に行われ、コストを縮減しながら区民の利用に供することができる。	-	システムパッケージのバージョンアップに合わせ機能改善を実施し、改修コストをかけずに区民の利便性を向上する。	B	光が丘図書館	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円	111,519	152,798	110,609														
			上記のうち人件費	千円	12,000	24,480	15,120															
6	図書館維持管理事務	良好な読書環境を維持し、区民の読書活動を支援するため。	成果指標	法令に基づいた保守点検が適切に実施された割合	%	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	A	A	A	A	施設・設備が経年劣化するなかで、利用者の安全を確保し、良好な読書環境を維持するため必要な清掃・保守点検を実施している。	B	引き続き、効率的、効果的な維持管理方法の検討および施設ごとの仕様書内容の見直しを行う。	B	光が丘図書館	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円	302,559	469,517	302,662														
			上記のうち人件費	千円	25,600	42,400	37,120															
7	南大泉図書館こどもと本のひろば(分室)の整備事務	低年齢から読書に親しむ機会を提供するとともに、南大泉図書館の閲覧スペースを広げるため。	成果指標	整備工事の完了	%	実績	実績	目標	目標	AB	A	非該当	A	B1	A	A	平成24年度整備工事は、予定どおり完了した。 指定管理事業者を選定し、平成25年4月から運営を開始した。 今後は、指定管理のモニタリングを行い、成果を既存の図書館に還元する。	A	平成24年度の施設整備完了および平成25年度の施設運営開始により、事業の目的を達成した。	F	光が丘図書館	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円	24,695	242,289															
			上記のうち人件費	千円	8,000	9,360	0															
8	図書館事業事務	利用者に資料を簡便かつ速やかに提供し、区民の生涯学習を支援するため	成果指標	登録者1人当たりの貸出点数(個人貸出)	点数	実績	実績	目標	目標	A	BD	該当	A	A	A	A	図書館サービスのあり方を委託業者、指定管理者に指導するとともに、資料の充実に努め、概ね効率性を高めることができた。引き続き住民参加・住民ボランティアの受入れ 事業評価方法の確立 学校との連携 地域ネットワークの形成 新たなサービスの確立を図る。	A	情報の拠点としての基本的役割に立ち、委託業者、指定管理者への適切な指導を行い、引き続き区民へサービスを提供する。 誰もが図書館サービスを利用できるよう、障害者サービスの充実を図る。 学校支援用図書の内容の充実を図る。また、既存のおはなし会等ボランティアの習熟度に合わせたフォロー研修を行うとともに、需要に応じた人材の養成を行う。	B	光が丘図書館	
						達成率	達成率															
			経費	投入経費	千円	723,376	563,321	534,068														
			上記のうち人件費	千円	448,000	287,760	257,120															

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 【施策番号:333 施策名:スポーツ活動を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価						
													達成率	達成率	目標	目標						
1	国民体育大会開催事務	国民体育大会と全国障害者スポーツ大会を区内で開催することにより、練馬区民のスポーツ振興を図るため	成果指標	国民体育大会開催に係る進捗状況		実績	実績	目標	目標	D	A	該当	A	A	A	A	24年度には国体リハーサル大会やスポーツ祭東京2013練馬区実行委員会等が順調に行われ、25年度に向けた準備が整っている。	-	ボランティアを募集して区民の参加を募るなどして、本大会に向けて区民の興味・関心を一層高めていく必要がある。	F	スポーツ振興課	
					実行委員会総会等実施	国体リハ大会開催	開催業務実施															
			経費	投入経費	千円	18,448	29,219	72,129														
					上記のうち人件費	千円	16,000	25,040	41,680													
2	公共施設予約システムの維持管理事務	区民が情報技術を活用して、自宅等からスポーツ施設や文化施設の利用手続きを手軽にできるようにするため	成果指標	登録団体数(3月31日時点)	件	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	B	B1	A	B	-	区民等からのシステムについての意見や要望等はあるが、大きな故障や不具合もなく、システムの維持管理は順調であると言える。	B	スポーツ振興課		
					%	9,982	10,121	10,500	10,500													
			経費	投入経費	千円	35,980	28,048	30,911														
					上記のうち人件費	千円	11,200	3,040	3,360													
3	スポーツ推進委員事務	区民がスポーツ活動を適切に行えるようにするため	成果指標	スポーツ推進委員数(3月31日時点)	人	実績	実績	目標	目標	D	A	該当	B	B1	A	B	-	多様なスポーツのニーズに応じられるような委員の資質の向上。 スポーツに関する有効な情報の発信。 区の障害者スポーツの推進。	B	スポーツ振興課		
					%	39	38	40	40													
			経費	投入経費	千円	5,460	9,260	9,440														
					上記のうち人件費	千円	800	4,640	4,640													
4	体育振興事務(各種事業の実施)	区民の生涯スポーツの普及・振興を図るため	成果指標	各種事業の参加者数	人	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	A	A	A	A	-	これまで上位政策と結びつきの強い「練馬区スポーツ振興基本計画」(計画期間:平成21年度から平成25年度の5か年)を着実に推進してきたところであるが、「練馬区スポーツ振興基本計画」が終了する平成25年度に、今後のスポーツの課題を見据えて、区民ニーズや練馬区スポーツ振興基本計画の取り組み成果等を踏まえた「第2期練馬区スポーツ振興基本計画」を策定する。	B	スポーツ振興課		
					%	22,259	26,377	25,000	25,000													
			経費	投入経費	千円	16,349	20,685	21,054														
					上記のうち人件費	千円	12,000	15,840	16,640													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:333 施策名:スポーツ活動を支援する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
5	スポーツ教室等事務	区民にスポーツをする機会を提供し、自主的にスポーツを継続していくようにするため	成果指標	スポーツ教室等の参加者数		実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	B1	A	A	全体として、スポーツ教室参加者数、各種事業参加者数ともに増加したが、参加者が減少している教室・事業もあり、引き続き参加者数の増加を図っていくとともに、コストの削減を図っていく必要がある。	B	より多くの区民に情報を発信するため、ホームページを充実させるなど、広報活動の見直しを検討する。	B	スポーツ振興課
					人	25,330	26,979	27,000	28,500												
			%	93.8	99.9																
			経費	投入経費	千円	34,996	42,759	41,482													
	上記のうち人件費	千円	15,200	22,560	19,200																
6	スポーツ大会事務	広く区民にスポーツを普及し、健康増進と体力向上を図るとともに、区民相互の連帯を深めるため	成果指標	スポーツ大会参加者数		実績	実績	目標	目標	D	B	該当	B	B1	A	A	7つある大会のうち4大会において昨年度の参加者数を上回った。また、全体としても約1,200名の増加であり、一定の成果があったと考えられる。しかし一方で、大会の要項等の情報を得にくいとの声もあることから、ホームページの活用や大会要項等の配布場所について検討していく必要がある。	-	ホームページの活用や配布場所の拡大など、広報活動の充実を図る。	B	スポーツ振興課
					人	24,712	25,974	27,900	27,900												
			%	88.6	93.0																
			経費	投入経費	千円	38,905	53,932	47,818													
	上記のうち人件費	千円	8,000	20,880	15,840																
7	スポーツ団体の育成および指導者育成事務	区民の自主的なスポーツ活動を支援するとともに、区民のスポーツ活動を支える人材の育成と確保のため	成果指標	スポーツリーダー登録者数		実績	実績	目標	目標	D	A	該当	B	B1	A	B	スポーツリーダー登録後のフォローアップ研修会の参加者数も増加しており、地域住民の多様なスポーツのニーズに応じられる資質の高い指導者が育成されつつある。一方で、毎年スポーツリーダーを育成しても、高齢等の理由によりスポーツリーダーを辞めていく方もいるため、今後はより多くのスポーツリーダーの育成を進めていく必要がある。	-	・地域住民の多様なスポーツのニーズに応じられるよう、今後もより多くの自主的なスポーツ団体への支援およびスポーツ指導者の育成を進めていく必要がある。 ・区民が今まで以上にスポーツ指導者を活用できるように、スポーツ関係団体との調整を進め、スポーツ人材バンクを整備していく。	B	スポーツ振興課
					人	665	666	700	700												
			%	95.0	95.1																
			経費	投入経費	千円	8,370	6,262	6,444													
	上記のうち人件費	千円	8,000	5,840	5,840																
8	体育振興事務(育成事業)	総合型地域スポーツクラブ(SSC)が、早期に会費制運営を確立し、自主事業により地域において豊かなスポーツ活動が展開できるよう育成・支援するため	成果指標	総合型地域スポーツクラブ(SSC)の会員数		実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	B2	A	B	会員数は増加していないが、SSCが地域で一定の認知をされつつある。各SSCともに財政基盤・運営体制が整ってきているため、事業数・事業参加者数が増加してきている。	B	総合型地域スポーツクラブ(SSC)が、各地域において自主事業を含めた豊かなスポーツ活動を活発に行えるよう育成・支援していくことで、各SSCの会員の増加や会費制運営の確立など、各SSCの自立に向けた取り組みを推進する。	B	スポーツ振興課
					人	4,328	4,314	4,500	4,500												
			%	108.2	95.8																
			経費	投入経費	千円	12,609	14,361	13,543													
	上記のうち人件費	千円	4,000	6,640	5,440																

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:333 施策名:スポーツ活動を支援する】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
9	地域体育館等維持運営事務	スポーツレクリエーションの振興と、区民の心身の健全な発達を図るため	成果指標	地域体育館等の利用者数	人	実績	実績	目標	目標	A	D	非該当	A	A	A	A	・平成24年度から17施設を5グループに分け、使用料が指定管理者の収入になる利用料金制の指定管理者制度を採用した。 ・利用者数は目標を上回った。 ・利用者一人当たりの経費が減少した。	A	・地域住民、利用者等で構成する運営協議会を設置する(中村南スポーツ交流センターは設置済み)。 ・障害者専用コースの委託化について検討する。	B	スポーツ振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	955,378	1,122,724	1,146,593													
					上記のうち人件費	千円	60,000	65,760	62,480												
10	運動場維持管理事務	スポーツレクリエーションの振興と、区民の心身の健全な発達を図るため	成果指標	運動場の利用者数	人	実績	実績	目標	目標	D	C	非該当	A	A	A	A	・運動場利用者の実績人数が目標人数を越え、110.2%となった。 ・利用者一人あたりの経費が増加したが、コストは低い。 ・区民の健康増進やレクリエーション活動の充実等の観点から、必要性は高い。	-	グラウンドの補修について、計画的に行っていく。	B	スポーツ振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	227,531	160,359	87,342													
					上記のうち人件費	千円	28,000	18,800	11,520												
11	総合体育館維持管理事務	スポーツレクリエーションの振興と、区民の心身の健全な発達を図るため	成果指標	総合体育館の利用者数	人	実績	実績	目標	目標	D	B	非該当	B	A	A	B	利用者数は目標に達しなかったが、前年度より1万人の増となった。 コストについては、前年度を大幅に下回った。	-	新総合体育館の建築計画を踏まえて、老朽化した施設・設備の計画的な修繕を行う。	B	スポーツ振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	138,097	117,729	121,441													
					上記のうち人件費	千円	32,000	14,320	14,800												
12	運動施設建設事務	スポーツ、レクリエーションの振興と、区民の心身の健全な発達を図るため	成果指標	総合体育館改築に係る進捗状況	%	基本計画策定	事業方式等検討実施	事業着手	事業推進	AB	A	非該当	A	A	A	A	事業方式等検討の結果、平成25年度の事業着手に向け、総合体育館改築事業に最も適した事業方式を決定することができた。	A	体育館改築について、従来の設計・施工分離発注方式から、設計・施工一括発注方式とすることにより、事業のコストの低減および整備期間の短縮を図っていく。	B	スポーツ振興課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	24,480	23,930	25,000													
					上記のうち人件費	千円	14,400	15,040	10,000												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
1	文化財保護事務(保護・保存)	区民の貴重な財産である文化財を保護・保存し、次代に伝えていくため	成果指標	文化財の指定・登録件数	件	実績 191	実績 197	目標 201	目標 205	A	B	該当	A	A	A	A	新たな文化財の登録等により、区内の文化的価値を有するものを保護・保存することができた。	B	埋蔵文化財の一括収蔵について、引き続き検討する。	B	文化・生涯学習課
				%	100.0	101.0															
			経費	投入経費	千円	39,244	30,382	28,153													
				上記のうち人件費	千円	20,000	17,360	14,080													
2	文化財保護事務(普及・啓発)	地域に残る文化財の保護・保存意識を高め、区民文化の向上を図るため	成果指標	文化財イベントの延参加者数	人	実績 14,646	実績 18,581	目標 11,900	目標 12,000	A	A	該当	AA	A	A	A	施策の実現には、普及啓発事業は不可欠であるが、他機関等との連携により、経費負担増を極力抑えながら多くの区民に周知できる機会を設け、事業展開を図っていることから、良好であると判断できる。	A	区民に、より区内の文化財を身近なものとして捉えていただくために、通常は容易に見学できない登録文化財の公開事業を東京文化財ウィーク等で実施する。 登録文化財の説明板について、老朽化の状況を判断し、区民により分かりやすい内容のものを設ける。 練馬区の遺跡地図を発行する。	A	文化・生涯学習課
				%	139.5	165.9															
			経費	投入経費	千円	18,478	9,082	7,375													
				上記のうち人件費	千円	12,000	7,440	5,760													

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:335 施策名:多様な文化・社会への理解を進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	地域での多文化交流推進事業	区民の国際理解を深め、地域社会での共生を進めるため	成果指標	交流会等参加者数	人	実績 717	実績 1,018	目標 1,000	目標	A	B	該当	A	A	A	A	NPO団体やボランティア日本語教室等の各種の団体、通訳等の登録ボランティア、行政の各機関等が、それぞれの特長を生かし、外国籍住民と日本人区民との相互理解や交流を進める活動を、連携して進行している。	A	25年4月開設の「文化交流ひろば」において、多様な多文化共生事業を実施するほか、NPO団体やボランティア団体との連携を進め、ネットワークを広げながら多文化共生事業を展開する。	A	地域振興課
				%	80.6	113.1															
			経費	投入経費	千円	12,805	17,281	22,434													
				上記のうち人件費	千円	8,000	10,480	8,080													
2	区内在住外国人等の地域活動推進事業	外国人等が主体的に地域で暮らすことのできる共生社会を進めるため	成果指標	在住外国人相談件数と通訳ボランティアの派遣件数の合計	件	実績 901	実績 1,126	目標 1,000	目標	A	A	該当	A	A	A	A	日本語でのコミュニケーションが困難な外国出身者にとっては、外国語相談は重要な生命线となっている。また、区の様々な窓口における対応でも、ボランティアが介在することによって相互理解が進んでいる。相談員やボランティアの存在は、大きな意義のあるものとなっている。	B	「文化交流ひろば」の情報コーナーにおいて、多言語情報支援員による電話・窓口での情報提供を、平日午前10時～午後1時、土日祝午後1時～4時に実施する。既存の外国語相談と連携し、対応時間や対応言語の拡大を図る。	A	地域振興課
				%	90.1	112.6															
			経費	投入経費	千円	15,077	15,278	20,570													
				上記のうち人件費	千円	8,000	8,080	11,360													
3	海外都市との交流推進事業	練馬区と友好都市双方の発展および相互理解推進のため	成果指標	友好都市との訪問団派遣人数受入れ人数	人	実績 97	実績 135	目標 140	目標 140	A	A	非該当	B	A	A	B	中国北京市海淀区、オーストラリア・イプスウィッチ市とも長年に亘る双方の努力と信頼関係により、様々な分野で区民を主体とした交流事業が実施できた。また、今後も更に友好関係を発展させていくことをお互いに希望している。	B	区民による自主的な交流が様々な分野で継続的に行われるよう支援の仕組みを検討する。 新たな友好交流の候補都市について情報収集する。	A	国際・都市交流課
				%	69.3	96.4															
			経費	投入経費	千円	6,933	9,058	15,309													
				上記のうち人件費	千円	4,000	5,040	13,840													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	危機管理対策事務	区の危機管理体制の構築および区民の危機管理意識の高揚を図る	成果指標	「ねりま安全・安心メール」登録件数	件	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	AA	A	B	区内の不審者情報や詐欺情報などを、迅速に多くの区民に発信することができ、防犯・防火に有効なツールである。登録者数の増減はあるが、情報の配信を希望している区民は、25,000人を超えており、ニーズは高い。	B	平成25年6月1日より、ねりま安全・安心メールを含めた練馬区のメールシステムの統合にともない、新システム「ねりま情報メール」へ移行した。それに伴い、登録者数が26,010人から16,841(平成25年6月1日現在)に減少した。区民に対し、「ねりま情報メール」を周知し、登録者数を増やしていく。また、新システムにおいても適正に作業し、正確な情報を迅速に配信する。	B	安全・安心担当課
						達成率	達成率														
			27,430	26,010	20,000	21,000															
			101.6	92.9																	
経費	投入経費	千円	6,230	6,550	6,700																
			上記のうち人件費	千円	5,600	5,920	5,920														
2	防犯・防火区民支援事業(地域啓発育成)	地域住民の防犯・防火意識を高めることにより安心して暮らせるまちをつくるため	成果指標	地域防犯防火活動実施団体登録数	団体	実績	実績	目標	目標	AB	A	該当	B	A	A	A	各分野において、一定程度事業の進行が見られる。住民や各団体と区が協働して進めており、本事業は概ね良好に進捗している。	A	区内の問題家屋に対し、他組織と連携し、対応を協議する。 地域防犯防火連携組織については、運営していく上で区の支援方法の検討を行い、より多くの連携組織を設置していく。 防犯防火対策啓発用品については、関係機関と協議し、効果的な普及啓発を働きかける。 防犯設備整備費補助については、防犯カメラの普及促進に努めていく。	B	安全・安心担当課
						達成率	達成率														
			276	273	280	280															
			98.6	97.5																	
経費	投入経費	千円	26,508	35,307	42,429																
			上記のうち人件費	千円	17,600	17,760	17,760														
3	防犯・防火区民支援事業(各種事業実施)	区民の誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを実現するため。	成果指標	地域住民団体へのパトロールカーの貸出件数	件	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	A	A	A	巡回経路の効率化や区民の認知度など、一定程度事業の進行が見られる。また、依然として、地域貸出は380件を超えており、区民のニーズは高い。住民や各団体と区が協働して進めており、本事業は概ね良好な進捗状況である。	B	より効率的で効果の高い事業とするため、巡回経路、巡回内容の見直しを行い、今後のパトロール仕様書に反映する。 安全・安心パトロールカーの貸出をより多くの区民に活用してもらい、地域防犯活動の活性化につながるよう、認知度の向上を図る。 地域の防犯意識を高めるため、安全・安心パトロールカーの新しい活用方法を考える。	B	安全・安心担当課
						達成率	達成率														
			411	389	470	470															
			87.4	82.8																	
経費	投入経費	千円	84,378	82,122	92,527																
			上記のうち人件費	千円	4,000	7,840	7,840														

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価				
4	防犯・防火対策事務	地域における災害時の初期消火力の向上を図るため	成果指標	100m四方に設置されている街頭消火器の本数	本	実績	実績	目標	目標	A	B	非該当	B	A	A	A	B	・家屋の建替えや宅地開発、道路拡幅計画などに伴い一時撤去した街頭消火器については、同じ場所への再設置に理解を得られるよう住民や事業者働きかけることにより、既存の設置数維持に努める。 ・街頭消火器の新設については、各地域毎の設置状況等を踏まえ、計画通りに設置を進めていく。	B	安全・安心担当課
						達成率	達成率													
			投入経費	千円	43,064	43,499	42,256													
			上記のうち人件費	千円	7,200	9,840	9,840													
													<p>火災の防止には、公助だけでなく、自助・共助による態勢強化が必要である。 地域と消防のパイプ役となる消防団については、補助金の交付や地域に貢献した団・団員の表彰などを行うことで活動を支援している。 街頭消火器は、区民からの要望や地域の設置状況を踏まえて設置し、また年1回全ての消火器を保守点検することで維持管理に努め、いざという時の火災に備えている。 区として消防団および区民に対し必要な支援を行うことで、地域の連携を図っており、今後も継続する必要がある。</p>							

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表 [施策番号:342 施策名:自然災害に対する態勢を強化する]

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
1	ねりま防災カレッジ事務	区民の防災に対する意識の向上を図り、地域において活動する人材を育成するため	成果指標	区民向けクラス別コース修了者数	人	実績	実績	目標	目標	ABC	A	該当	B	A	B1	B	成果指標が目標値に達していないものの、平成24年度より「ねりま防災カレッジ事業」を開始したことで、区民が防災に関心を持ち、また技術や知識の向上を図る機会ができた。平成25年度については、事業をさらに充実するとともに、26年度の施設開設に向けて、事業内容や運営方法の検討を行う。	A	事業を充実するとともに、平成26年4月の施設開設(本格的な事業実施)に向けて、委託等を含めた事業内容の検討を行う。	A	震災対策担当課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	4,576	15,869	146,358													
					上記のうち人件費	千円	4,000	14,640	21,040												
2	区民防災組織育成事務	大地震等の災害時に地域住民が自主的な防災活動を展開できるよう、自発的な防災組織の育成を図るため	成果指標	訓練を実施した区民防災組織の割合	%	実績	実績	目標	目標	A	B	該当	B	B1	A	B	前年度に比べ、訓練を実施した区民防災組織数は増加したが、組織により活動の状況に差が生じており、区内全域の地域防災力の向上に向け、一層の支援の強化が必要である。	A	・改正助成金制度を区民防災組織に浸透させ、訓練などの一層の活発化を図る。 ・避難拠点の運営に必要な事項について、運営連絡会等に共通の理解をいただけるよう、手引の改訂を行う。	A	防災課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	50,746	68,859	76,269													
					上記のうち人件費	千円	32,000	47,520	33,440												
3	防災訓練事務	防災訓練を通して、災害時における区民・区民防災組織・防災関係機関・区職員等の防災実践力の向上および連携体制の強化を図るため	成果指標	防災訓練参加者	人	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	B	A	A	A	防災訓練参加者数は目標に至らなかったものの、区民防災組織への働きかけや、訓練内容の工夫により、大幅に増加した。今後、一層、区民が参加しやすく、実践的な訓練となるよう内容の検討が必要である。	-	・新たな災害時要援護者安否確認の仕組みを構築し、順次訓練を実施する。 ・複数団体による訓練や、学校との合同による訓練の実施などにより、いっそう訓練参加者数の増加を図る。 ・訓練場所や日程の周知の充実を図る。	A	防災課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	43,009	24,404	23,996													
					上記のうち人件費	千円	40,000	20,480	17,600												
4	水防関係事務	台風・集中豪雨による水災害から区民等の生命と財産を守るため	成果指標	風水害時に必要とした水防本部回数に対する設置した回数	回	実績	実績	目標	目標	AC	B	非該当	A	A	A	A	気象情報や河川の水位をいち早く入手し正確に分析して、適切な水防体制で迅速に対応し、区民等の命と安全・財産が守れた。	A	区内河川の水防危険箇所を精査した上で、カメラ設置を行う。 台風の進路やゲリラ豪雨の際の気象情報をいち早く入手した上で、正確な情報分析により、適切な水防体制を取る。 水防体制に従事する職員の配置と役割を見直し、より迅速に効率的な対策を取れるようにする。	B	道路公園課
						達成率	達成率														
			経費	投入経費	千円	36,647	40,084	38,154													
					上記のうち人件費	千円	21,600	21,120	20,320												

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
													成果	効率性	必要性	総合評価					
5	防災関係事務	災害が発生した場合、または発生の恐れがある場合に、迅速かつ的確に災害対策活動を実施するため	成果指標	災害時における緊急初動要員の配置状況	人	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	B	A	A	B	災害時における緊急初動態勢については、年間を通じて迅速かつ確実な対応ができるように、継続して検証を続けていくことが必要である。職員や区施設の実情にあった態勢を確立するため、配置基準を見直す等、今後も引き続き見直しを行っていくとともに、避難拠点や給水施設の運営等における地域住民の防災力のさらなる向上を図る。 また、休日、夜間等における警戒態勢(宿・日直)について、発災時に確実に機能するよう、専門的な職員を配置する。	A	・災害時における緊急初動態勢について、特別な役割(給水・医療・情報)が重複している拠点の解消、近隣職場から任命している要員(特に児童館・福祉園)のあり方等について見直しを行う。 ・休日、夜間等における警戒態勢について、区管理職員による交代制をあらため、より専門性を強化する観点から、宿直専門の非常勤職員を配置する。	B	防災課
						達成率	達成率														
			98.5	98.9																	
			%																		
経費		投入経費	千円	100,836	60,313	82,810															
		上記のうち人件費	千円	51,200	21,680	18,480															
6	防災施設維持管理事務	震災時における食料・飲料水等を確保・整備することにより、避難者等区民の生活を維持・支援するため	成果指標	発電機等資器材の稼働を確保(保守点検の実施)するとともに、備蓄物資を整備(期限切れ物資の入れ替え等)した避難拠点等の数	箇所	実績	実績	目標	目標	AB	A	該当	A	A	A	A	平成24年4月に公表された、首都直下地震等による東京都の新たな被害想定を踏まえ、計画的に物資等の充実を図っている。	A	・帰宅困難者を含めた、物資の備蓄量について再度検討を行う。 ・女性や要援護者に配慮した物資について検討を行う。	B	防災課
						達成率	達成率														
			103	103																	
			%	100.0	100.0																
経費		投入経費	千円	89,719	111,017	96,283															
		上記のうち人件費	千円	8,000	12,720	13,600															
7	防災センター維持運営事務	災害時における災害対策本部活動を支えるシステムを適正に維持管理することにより、迅速かつ的確な災害対策活動を実施するため	成果指標	1年間の通信訓練を実施した回数	回	実績	実績	目標	目標	D	B	該当	A	B1	A	B	導入している機器やシステムについては、発災時に確実に機能するように適切に維持管理を行っている。今後、課題となっている同報系防災無線放送塔の増設、デジタル化を計画的に進めていく。	-	・区民の利便性の向上、効率化のために、複数のメール配信システムを統合する。 ・同報系防災無線について、放送塔の増設およびデジタル化を進める。 ・移動系無線について、ファックス通信のあり方を検討する。 ・被害情報の的確な把握のためのシステムについて検討する。	A	防災課
						達成率	達成率														
			14	17	17	17															
			%	87.5	106.3																
経費		投入経費	千円	56,388	191,576	71,671															
		上記のうち人件費	千円	8,000	8,480	6,400															

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課		
												成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由	
1	平和推進事務	平和の大切さ、尊さに思いを寄せ、恒久平和の実現を祈念する機会を提供するため。	成果指標	平和祈念コンサートおよびパネル展のアンケート回答者のうち、平和への意識が高まったと感じた人の割合(%)とする。	%	実績 97	実績 94	目標 100	目標 100	AB	B	非該当	B	A	A	A	平和祈念コンサート・パネル展で行ったアンケートでは、回答者の94%が「平和の大切さについて考える機会となった」としているため。また、平和祈念パネル展を継続して実施し、区役所・石神井庁舎を訪れた多くの方々へ平和について考える機会を提供することができたため。	A	平和祈念コンサートにおいても、平和祈念パネルの展示を行う。	B	総務課
				達成率	97.0	94.0															
			経費	投入経費	千円	14,287	5,609	5,251													
				上記のうち人件費	千円	12,800	4,080	3,680													

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				総合評価理由	前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課
												成果	効率性	必要性	総合評価					
1	人権啓発事務	同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消に取り組み、一人ひとりの人権が尊重される地域社会を形成するため	成果指標 講演会等啓発事業参加人数等	人	実績	実績	目標	目標	A	A	非該当	AA	B1	A	A	各種啓発事業後のアンケート等では、区民の人権意識の向上がうかがえ、継続して実施している効果が出ている。今後もさまざまな人権問題を身近なものとしてとらえ、正しく理解する契機となるよう地道な啓発活動を継続していく。	B	地域社会や区職員に人権尊重の意識を浸透させていくために、区民に向けては区報やホームページ、オリジナルチラシを活用し周知を広める他、各事業の申込方法についても電子メールでの参加申込みを導入し、より多くの区民が事業参加できるよう工夫する。職員に対しては、引き続き職員報やグループウェア掲示板を活用するなど、定期的に継続した啓発・周知に取組む。	B	人権・男女共同参画課
					達成率	達成率														
			909	1,358	1,150	1,150														
			90.9	135.8																
経費	投入経費	千円	14,155	17,093	16,295															
		上記のうち人件費	千円	12,000	14,960	13,840														
2	厚生文化会館維持運営事務(人権尊重事務)	地域における人権尊重の理解と認識を深めるため	成果指標 けやきまつりともちつき大会参加者数	人	実績	実績	目標	目標	D	A	非該当	B	B1	A	A	実行委員会形式により、関係団体と連携しながら良好に運営している。	-	区立施設で唯一担っている事業のため、急激な改革は難しい。	B	福祉部経営課
					達成率	達成率														
			2,049	2,093	2,100															
			97.6	99.7																
経費	投入経費	千円	35,517	21,789	21,544															
		上記のうち人件費	千円	30,400	16,560	15,760														
3	男女共同参画施策事務(啓発事業)	男女共同参画社会の実現に向けて、広く区民に啓発と情報の提供を行うため	成果指標 ねりまフォーラムの満足度(無回答を除く)	%	実績	実績	目標	目標	A	A	該当	A	A	A	A	第3次男女共同参画計画を推進するため、啓発紙の効果的な配布を行い効果があった。	A	男女共同参画社会の推進のため、区民への啓発方法の更なる工夫や効果的は配布方法を区民とともに検討し、実施していく。	B	人権・男女共同参画課
					達成率	達成率														
			96	97	95	95														
			101.1	102.1																
経費	投入経費	千円	10,135	9,349	11,568															
		上記のうち人件費	千円	8,000	6,320	9,440														
4	男女共同参画施策事務(計画の推進)	男女共同参画問題に関する区の施策を計画、調整、推進するため	成果指標 第3次練馬区男女共同参画計画に対し各所管の事業の推進評価件数	件数	実績	実績	目標	目標	A	A	該当	B	A	A	A	各所管の事業の実施件数および男女共同参画に係る推進評価件数も増加しているため、計画の推進は良好に進んでいる。	B	第3次練馬区男女共同参画計画の実施状況の確認について、今年度は重点課題を設定し、それについて検討していく。	B	人権・男女共同参画課
					達成率	達成率														
			53	62	65	65														
			81.5	95.4																
経費	投入経費	千円	10,012	6,882	9,824															
		上記のうち人件費	千円	9,600	6,320	9,360														

平成25年度 事務事業評価 施策別総括表

【施策番号:352 施策名:人権の尊重と男女共同参画を進める】

事務事業番号	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	23年度	24年度	25年度	26年度	選定区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善案達成状況	今年度以降の改革・改善案	事業の方向性	担当課	
													成果	効率性	必要性	総合評価					総合評価理由
5	配偶者暴力防止および被害者支援事務	配偶者暴力のない社会の実現のため	成果指標	配偶者暴力被害者の減少	実績					A	A	非該当	A	A	A	B	配偶者暴力防止および被害者支援事務は、効率性や必要性は高く、継続して計画を推進することから、事業は概ね良好に進んでいるといえる。	B	配偶者暴力相談支援機能の具体的検討を行い、方向性を決定していく。	A	人権・男女共同参画課
					達成率																
			経費	投入経費	千円	2,424	4,670	10,386													
				上記のうち人件費	千円	2,400	4,640	10,320													
6	男女共同参画センター維持運営事務(各種事業の実施)	性別にかかわらずその個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現をめざすため	成果指標	講座事業の参加率	実績					A	D	該当	AA	AA	A	AA	事業の実施方法の工夫により、事業数や参加人数を増やし効率性も上げ、事業の実施は良好に進んでいる。	A	講座等事業の拡大を図りながら、さらに効率性を高めていく工夫を行っていく。また、図書・資料室の電算化により、効率性を高める工夫をする。	B	人権・男女共同参画課
					達成率	85	110	100	100												
			経費	投入経費	千円	56,113	53,337	54,493													
				上記のうち人件費	千円	24,000	6,880	7,520													
7	男女共同参画センター維持運営事務	男女共同参画センターの効果的・効率的な管理運営を行い、施設、付帯設備が支障なく利用できるようにするため	成果指標	施設利用者の満足度	実績					D	D	該当	B	A	A	B	施設利用者の満足度は高く、男女共同参画センター運営委員会の施設に対する評価も良好であり、施設の運営は概ね良好に進んでいる。	B	光熱水費を削減を検討していくため、毎月使用料の確認と対策方法を検討していく。	B	人権・男女共同参画課
					達成率	87.0	89.9	95	95												
			経費	投入経費	千円	46,810	43,721	39,766													
				上記のうち人件費	千円	3,200	2,240	1,680													